

伝統の継承から革新へ〜全盛期を迎えた新作弓の世界

19世紀初頭にフランソワ・トルテから始まった弓製作の発展は、20世紀前半にいったん頂点を迎えました。2度の大戦を経験したフランスでは一時技術が失われかけますが、ミルクルの製作学校で学んだベルナル・ウーシヤの門下生達の活躍により、いま全盛期を迎えるに至りました。

Jacques Poullot



ジャック・プロー
ミルクルの製作学校においてベルナル・ウーシヤの元で学び、その後30年以上に亘り伝統的なフランスの技術を守りながら製作を続けています。現在はフランスのデザインとイタリアのバリーに工房を構え、オールド弓の修復や鑑定なども行なっています。しなやかなスティックから生み出される優美な音色が演奏家から高い評価を受けており、イ・ムジカ合奏団やアンドレ・リュウ楽団のメンバーらが彼の弓を使用しています。



ヴァイオリン弓 シルバー 時価
チェロ弓 シルバー 時価

Christophe Schaeffer



クリストフ・シエフェール
名工サルトリが遺した材料や工具を継承した、現代フランスを代表する製作家。幼少よりヴァイオリン演奏を学び、ミルクルの製作学校において楽器製作、ついで弓製作を学びました。1978年に開催されたVSA(ヴァイオリン・ソサエティ・オブ・アメリカ)主催の製作コンクールにおいて、わずか20歳にしてゴールドメダルを受賞。素材の個性を生かしエレガントな弓に仕上げる技術が素晴らしく、まさに天才と呼ぶに相応しい製作家です。



ヴァイオリン弓 シルバー 時価
チェロ弓 シルバー 時価

Emmanuel Carlier



エマヌエル・カリエール
2010年にミッテンヴァルト製作コンクールで入賞、2012年にはVSA主催のコンクールでヴァイオリン、チェロ、コントラバスでゴールドメダルを獲得した今最も注目されている製作家の一人です。パリ近郊で生まれソルボン又大学で歴史学を学んだ秀才でもあります。ヴァイオリン製作を学んだ後、弓製作に転向。ピエール・ギヨームの工房で技を磨きました。現在はパリに自身の工房を構えています。2013年にはフランス・アカデミーよりローマ賞を受賞。ローマのメデイチ荘にて製作を行いました。



ヴァイオリン弓 シルバー 時価 / ゴールド 時価
チェロ弓 シルバー 時価 / ゴールド 時価

Monique Poullot



モニーク・プロー
夫であるジャック・プローより弓製作を学びました。スティックだけではなくあらゆるパーツを自作するフランスの弓製作のスタイルを守りながら、高いコストパフォーマンスを誇るモニークの弓は人気が高く、多くのプレーヤーに愛用されています。現在工房を構えている街の名前から名付けたシャモニーモデルは、スタンダードより強めのスティックに仕上げられており、現代的な装飾が施されたラッピングが美しい逸品です。



ヴァイオリン弓 シャモニーモデル ¥800,000
チェロ弓 シャモニーモデル ¥900,000